

【南区】令和 4 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 4 年 8 月 31 日（水） 午後 3 時 30 分～ 4 時 05 分
場 所	ウェブ会議システムによるオンライン開催
出席者	<p>【座 長】 渋谷健議員</p> <p>【議 員：3 名】 遊佐大輔議員、仁田昌寿議員、荒木由美子議員</p> <p>【南 区：24 名】 鈴木健一区長、滝本潔副区長、 木村博和福祉保健センター長、 大塚貴司福祉保健センター担当部長、 村上一徳土木事務所長、今山徹南消防署長（災害対策 担当部長）ほか関係職員 18 人</p>
議 題	<p>1 令和 3 年度 南区個性ある区づくり推進費の決算について</p> <p>2 令和 4 年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について</p> <p>3 令和 5 年度南区個性ある区づくり推進費の編成に向けての考え方について</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 「令和 3 年度 南区個性ある区づくり推進費の決算について」</p> <p>議題 2 「令和 4 年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について」</p> <p>【荒木議員】 14 ページ『権利擁護に係る講演会の開催』について、とても良い内容だったと思います。講演会を教材 DVD 化して、その DVD を基にして、地域包括支援センターや区社会福祉協議会が、権利擁護についての学習や交流会を自主的に運営できるようにということで配布していると思います。今年、地域包括支援センターや区社会福祉協議会が DVD を実際に活用した事例があるのか、教えてください。</p> <p>【石川 高齢・障害支援課長】 DVD 作成と配布の趣旨は、今先生がおっしゃったとおりでございます。記載のとおり、地域包括支援センターと区社協に配布させていただいております。DVD の実際の活用予定、DVD を使った事業の予定は、今のところ確認できておりませんので、また、ご報告の機会がありましたら、是非把握して、ご報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>【荒木議員】 身近な場所で聞きに行ける機会を作ってもらえると、先に進めやすくなりますし、例えば、行政書士等と一緒に連携して、エンディングノートの作成の仕方や手続きの仕方などの協力を得られると、将来の不安感がなくなっていくのではないかと思います。せっかく作った DVD を活用できるように、是非良い使い方を提案していただければ良いと思いました。</p>

次に、27 ページ『減災対策支援事業』について、本日の説明では触れていませんでしたが、今年も南区は減災対策に力を入れていただいて、予算もなんとか確保して、例年通り頑張ろうというところが見えますが、自治会町内会向けの感震ブレイカーの補助件数が前年 400 件から今年度は 200 件に減っています。その一方で、個人向けに 200 件計上しているので、合わせて 400 件になるのは良いと思いますが、総務局危機管理室に聞かしても、様々な手法を取り込んでも感震ブレイカー設置は進んでおらず、非常に苦勞しているのがよく分かります。地区懇談会に出ていくと、自治会町内会ぐるみで取り組んでいただいているような手法を凝らして頑張ってもらっちゃるところもありますので、どこか「面」でつぶしていくようなやり方も良いのではないのでしょうか。相手から設置したいと言われるのを待つのは、かなり厳しくなっていますので、重点的な地域を取り上げて、消防と一緒に取り組んでいくような仕組みはできないものではないのでしょうか。このあたりについては、どのようにお考えでしょうか。

【森田 総務課長】

先生がおっしゃっていただいたように、他の補助事業も合わせて 3 事業とも同じですが、感震ブレイカーの補助件数が、なかなか予算数までいかないのが現状でございます。ただ、感震ブレイカーについては、昨年度は、295 件ということで、町内会に協力いただいた結果、割と件数は出ております。今年度から個人向けの補助を増やしていますが、今のところ、自治会町内会向けも個人向けも確かにあまり伸びていないという現状がございます。例えば、先生からご提案がありましたように、少し重点的に特定の地域と協力して、また、消防にも協力していただいて、確かに待つだけではなくてこちらから仕掛けるみたいなことも考えてみたいと思います。ほかにも、全 3 事業含めてですが、従来の広報よこはまですとか、ホームページ、ツイッター、タウンニュースでも特集を組んでもらおうと思っております。引き続き、広報等にも力を入れていきたいと思っております。

【荒木議員】

ありがとうございます。是非、その仕掛けも考えていただきたいと思っております。

先日、浸水ハザードマップと避難行動計画、マイ・タイムライン作成シートがセットで私の自宅にも配布されました。議会でも取り上げられていますので、私たちは、このことだと思いましたが、配布した後、区役所に、「これはどういうものか」という問い合わせですとか、「これを使って学習したい」ですとか、そのようなオーダーはあったのでしょうか。

【森田 総務課長】

今のところ、特にありません。全部配り終わったのが 7 月ですので、まだ、問い合わせやオーダー等はありません。確かに先生がおっしゃるように、南区でも以前防災マップを作ったときに全戸配布しましたが、
「防災マップの見方が分からない」などのご意見もいただきましたので、ハザードマップにつきましても、区民の方に、活用してもらえようにご近助講座等で、できるだけ周知に努めるように考えてみたいと思いま

発言の旨

す。

【荒木議員】

配布された後、中を開けて見てもらわないと意味がありません。中身は非常に分かりやすくできていると思いますが、そのままどこかに仕舞い込んだり、中を開けもしない方もいるのではないかとこのことを危惧しております。配布された以上、その中身を見ることを防災の面では言い続けなないと、なかなかみなさんへの周知徹底にはなりませんので、区連会などでもお伝えはしていると思いますが、もう少し定着するような仕組みを考えていただきたいです。防災訓練等でこれも配っていますよというお知らせはすると思いますが、何かきっかけを使って、知らせて、徹底的にみなさんに周知をしていただきたいです。配布されたものが役に立たないともつたいないと思いますので、是非その点の工夫をお願いしたいと思います。

【渋谷議員（座長）】

その他の議員のみなさん、ご質問はありますか。

【遊佐議員】

ありません。

発言の
要旨

【仁田議員】

何点か伺いたいと思います。11 ページ『健康づくり推進事業』について、生活習慣病の発症が南区の大きな課題でもあると思いますが、「講座は中止しましたが、風土づくりを行った」と、「それは相談等での啓発を通じて」と書いてあります。風土づくりというのはそう簡単にできるものではないと思いますが、敢えて風土づくりを行ったと書いた特徴的なことを教えてください。

【中村 福祉保健課長】

資料に書いてありますとおり、多くの方をお呼びして講座をするという集団向けの講座は中止になりましたが、個別の相談や保健指導は続けておりましたので、そこで相談に来た方に個別にアドバイスを差し上げたり、今後の生活について指導を行ったりしまして、その個別個別のなかで風土づくりを少し意識してアドバイスしたというところがございます。

【仁田議員】

そうすると、それがどのくらい広がりがあるのかと、風土を作っていくということに何かつながっていくものがあつたのかと思いましたが、個別の相談ですとその件数であつたり、その方が横に展開をしていく、その事例が横に展開されていくということはなかなか難しかったということ

よろしいでしょうか。

【中村 福祉保健課長】

はい、おっしゃるとおりです。

【仁田議員】

はい、分かりました。課題かな、と思います。

もう一つ、同じページで、『(3) 自殺対策事業』の「新型コロナウイルス感染症拡大の影響により」という枕詞がついていて、「自殺リスクが高まっている」と記載があります。これについて、エビデンスはありますか。

【中村 福祉保健課長】

令和2年は自殺者数が2万人を超えておまして、令和3年も令和2年と比較して減少はしましたけれども、引き続き2万人を超えており、自殺者数が増えている状況から、自殺リスクが高まっているという表現にしております。

【仁田議員】

承知しました。その中で、南区がこの2万人という傾向を見たときにどうかというような観点で、把握はされていますでしょうか。

【中村 福祉保健課長】

南区に関しましても自殺者数が増えておまして、人口10万人対の自殺率も市内で上から数えて2番目で、リスクが非常に高い区であると言えます。なかでも60歳以上の高齢の方のリスクが高いというデータも出ておりますので、そこを重点に取り組むこと。また、全国的にも若年層の自殺、女性の自殺も増えているところもありますので、南区はそういった傾向は顕著にはございませんが、全国でそういう傾向があることから、今度の9月に若者の自殺対策ということで講演会を行う予定であります。

【仁田議員】

はい、分かりました。

あと1点だけ、14ページ『(1) 認知症の啓発』について、先ほど荒木議員からも権利擁護に関してお尋ねがありましたが、「感染症拡大防止を考慮した認知症の啓発に向け、啓発映像を作成した」とあります。市営地下鉄で放映されたわけですが、令和4年度には記述がありませんので、この期間だけ使ったものなのかと思いますが、今後の活用などはお考えにならないのでしょうか。

【石川 高齢・障害支援課長】

こちらにつきましては、この期間、市営地下鉄で放映を行ったものでございます。それ以降は、一番身近なところでは、区役所1階で動画を放映するところがございますので、そこで毎月、現在も、放映を続けております。また、併せまして、今年度も実施しています、認知症講演会、介護予防講演会、権利擁護、成年後見制度に関する勉強会などでも、開始まで待

っていただいている間に、常に放映を行うなど、活用しているところがございます。

【仁田議員】

はい、分かりました。ありがとうございました。

議題3 「令和5年度南区個性ある区づくり推進費の編成に向けての考え方について」

【渋谷議員（座長）】

質疑、意見交換に移ります。何かございますか。

【荒木議員】

重点分野が令和4年度までの「減災・賑わい・健やか・こども」という括りから変わっています。80周年がありますので。令和5年度の重点分野1、2、3、4の順番は、この順番で考えているのでしょうか。

【鈴木 区長】

現時点では、この順番で考えております。また、関係するみなさんに、ご意見をいただきながら考えていきたいと思っております。前年度までは、「減災・賑わい・健やか・こども」という単語が柱になっていましたが、通じにくい面もありますし、言葉が少し似ているところもあると思いましたので、文章化した重点分野のテーマ付けにはどうかと思ひまして、このようにさせていただいております。

【荒木議員】

わかりました。南区らしさをどう打ち出していくのかということで、「重点分野1」にあるような「下町情緒」ですとか、「歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなどの資源」を生かしたいというのは、大事な視点だと思います。これからは、若い人たちにも南区を選んでもらえるような、そういう仕組みづくりも必要だと思います。子育てのしやすさという点では、南区は下町的で、子どもたちを大事にしているということを出せると良いと思ひましたので、この「重点分野」にも、南区は子育てをするのに非常に良いところだということが少し入ると良いと思ひました。

【鈴木 区長】

はい、ありがとうございます。引き続き検討してまいります。

発言の
要旨

発言の
要旨

【渋谷議員（座長）】
他にございますか。

【仁田議員】

今の荒木議員のお話に関連しますが、「子ども」を外出しして特化していたこれまでの重点分野に対して、令和5年度では「重点分野2」に入れて半分は記載があるということで、位置付けは理解いたします。ただ、コロナ禍で子どもへの今後の施策が、これまで通りでよいかということもあります。「重点分野2」のなかで、大事な子どもについて、より分かりやすく、重点化されていることが表現され、それに伴って事業も充実していただけることを是非、お考えいただきたいと思ひます。

【鈴木 区長】

はい、ありがとうございます。新しい中期計画でも子ども施策は非常に重要であると位置付けられております。そのあたりがアピールできるようなタイトル付けや内容も含めて検討させていただきます。どうもありがとうございます。

【仁田議員】

よろしくお願ひします。

【渋谷議員（座長）】

他にございますか。よろしいでしょうか。

【遊佐議員】

はい、大丈夫です。

【渋谷議員（座長）】

他にないようですので、この程度にとどめたいと思ひます。

以上で、本日の議題は終了いたしました。

本日の議事録を市会議長に提出しますので、作成については私に御一任願えますでしょうか。

【議員一同】

異議ありません。

発言の 要旨	<p>【渋谷議員（座長）】 それでは、そのようにさせていただきます。 以上で、本日の予定はすべて終了いたしました。 最後に事務局から連絡事項等がありますでしょうか。</p> <p>【森田 総務課長】 次回につきましては、運営要領に基づきまして、令和5年度の予算案に関しまして、予算特別委員会の日程を考慮いたしまして、開催させていただく予定でございます。詳細につきましては後日、改めて調整をさせていただきます。</p> <p>【渋谷議員】 それでは、これを持ちまして、令和4年 第3回区づくり推進横浜市議員会議を閉会します。 ご苦労さまでした。</p>
-----------	--